

〈セミナーのご案内〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回覧用ボックス

高等教育活性化シリーズ 257 (通算 583/587 回)

2014年3月12日(水) & 20日(木)

アカデミックスキル習得の教授法——

大阪&東京 開催!

論理 (ロジック) 構成を学ぶワークショップ

～ 検定と模擬授業/論証の発見・評価・構築/日本語・英語テキスト ～

- ※ 基礎技能～情報を切り取り、つなぎ、発信する“論理”力/語彙・文法に捉われない実践的コミュニケーション法
※ ロジック検定～論理力の熟練度測定/情報の主題と結論の理由付け/日本語とグローバル英語の2側面から
※ 国立教育政策研・論理的思考・高校生 H24 年度調査を読む/論理思考力の具体・実践の教材と学修/質問力

● 講師陣 ●

林 弘敏氏 / (公社) 日本論理検定協会 理事長
英国投資銀行 London&Oxford Capital Markets 共同設立者・共同経営者
デビットチャート氏 / (公社) 日本論理検定協会 英語部門総責任者
元 英国ケンブリッジ大学 講師 科学哲学博士 (ケンブリッジ大学)

○ 企画協力 (公社) 日本論理検定協会

2014年3月12日(水) 新大阪丸ビル本館 会議室 (新大阪) 中止
3月20日(木) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: [大阪] 3月12日(水) 10:00~17:00 中止
[東京] 3月20日(木) 10:00~17:00

大阪会場: 新大阪丸ビル本館 (新大阪) 【変更後】
大阪市東淀川区東中島1-18-5 Tel: 06-6321-1516
JR・地下鉄御堂筋線「新大阪駅」東口より徒歩2分
http://www.japan-life.co.jp/jp/buil/honkan/map.html

東京会場: 日本教育会館 (東京・神保町)
千代田区一ツ橋 2-6-2 Tel: 03-3230-2833
東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」
A1 出口より徒歩3分 http://www.jec.or.jp/koutuu/
※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となります
ので、必ずご確認ください。

参加費: 当日参加ご一名(資料代込) 45,000 円(消費税込)
※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いと
きには、代理の方がご出席ください。
※事前の課題資料及び参考書籍(裏面に記載)をご送付します
ので、メールアドレス及び郵送先を必ずご記入願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。
支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660

口座名 <(株) 地域科学研究会 >
※ご請求なき場合は、振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。
申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082
E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ 同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を
創設、KKJ の URL にてご覧ください。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 257

論理 (ロジック) 構成を学ぶワークショップ

勤務先

所在地 (郵送先) 〒

2014年 月 日

(□に✓印を) □大阪当日参加 □東京当日参加

支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
必要書類 □請求書 □見積書

連絡部課・担当者名

メールアドレス

TEL

FAX

Table with 3 columns: 参加者氏名, 所属部課役職名, メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

ロジックは、主張とそれを支える理由の関係です。学問や実務におけるロジックの重要性は広く共有されています。しかし、どのようにすれば意識的に言語の形で習得できるかの方法論は、学習者に十分提供されていません。言語におけるロジック力の具体的な強化策・教授法が必要です。

ロジックには異なる論理構成法があります。日常言語活動に資するロジックの構成法を学習することによって、学習者は情報の骨格の発見のみならず、情報の分析評価能力を取得することができます。さらに、コミュニケーションを円滑に行なうためのポイントである、質問の仕方を体系的に習得することができます。

既存の試験は情報が完全であり、明記されていることを前提にしています。当検定は情報が「不完全」であり、文章で明記されていないことが多いことも前提にして、情報を正確に読み取れる能力を測定します。

ワークショップによる実践も含めて、論理力養成のための具体的な教授法を提案いたします。

時間	講義項目とワークテーマ
10:00 ～ 10:30	<p style="text-align: right;">林 弘 敏</p> <p>1. 学習対象のロジック (1) 既存の学習方法との違い (2) 日本語のロジックと英語のロジック (3) クリティカルシンキングとの違い</p> <p>2. 展望と課題 (1) 企業内外の共通コミュニケーションツール (2) 仕事力との相関</p>
10:30 ～ 11:30	<p>3. [模試] 日本語ロジック検定の受験～主な検定項目 <希望者は英語版で受験可能> (1) 情報の主題；トピックスを把握する ○ 文章表面上の結論 ○ 明記されていない結論 ○ 情報提供者の意図していない結論 (2) 結論の理由付け ○ 文章表面上の完全な理由付け ○ 文章表面上の不完全な理由付け；欠けている理由 ○ 間違った理由；意図としている結論の理由にならない、もしくは別の結論の理由</p>
12:30 ～ 14:20	<p style="text-align: right;">林 弘 敏/デビット チャート</p> <p>4. ロジックの全体像 (1) 大学入試問題（日本語と英文）を例に説明 (2) 経済評論（日本語）を例に説明 (3) <論理的な思考>高校生調査報告書（国立教育政策研究所/2013年3月）への論評</p> <p>5. ロジック検定の解説 (1) 設問の狙い、測定項目 (2) 問題解説</p>
14:30 ～ 15:00	<p style="text-align: right;">林 弘 敏/金子恵美子</p> <p>6. 中央大学及び会津大学での取組み (1) 中央大学での取組み：ロジック検定とロジック講座 (2) 会津大学での検定試用：金子恵美子上級准教授による報告</p>
15:10 ～ 16:20	<p style="text-align: right;">デビット チャート</p> <p>7. [模擬授業] ～1つの構成法を例に <日本語での講義> (1) 文章の趣旨の把握 (2) 不明点の明確化 (3) 役立つ解答を導き出す質問の仕方</p>
16:30 ～ 17:00	<p style="text-align: right;">林 弘 敏/デビット チャート</p> <p>8. 質疑応答</p>

日本論理検定協会 HP <http://www.logiken.or.jp/>

☆事前課題資料及び参考書籍

課題：1) 大学入試問題より（小論文2題及び英語1題）

2) 経済評論（日本語A4判1枚） 3) 論理的思考テスト（日本語3題）

参考書籍：日本論理検定協会『英語のロジック』2013.1（研究社）

☆特典 先着10校までは学生の検定実施が無料